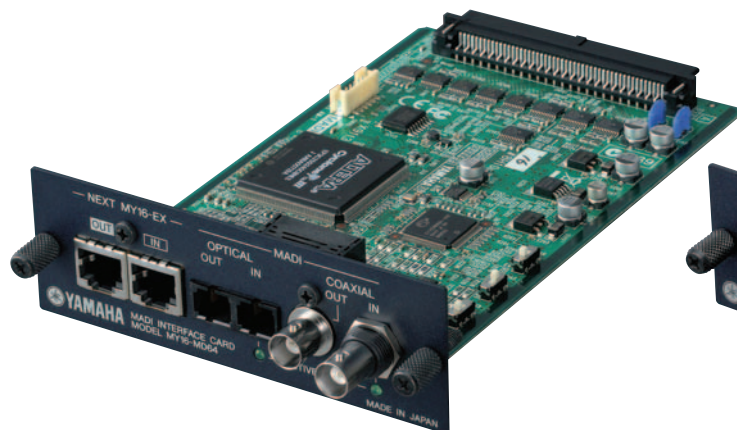
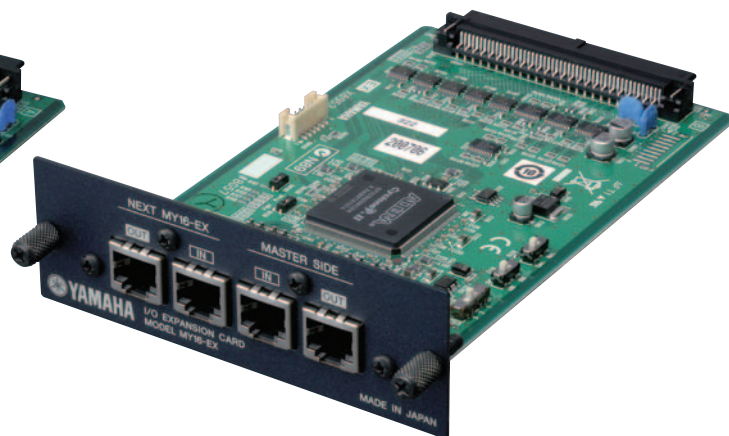


MADI インターフェースカード MY16-MD64



I/Oエクspansionカード MY16-EX



業界標準のMADI対応インターフェースカード

プロオーディオ業界においてはデジタル音声伝送フォーマットとしてMADI (Multi-channel Audio Digital Interface、AES10-2003) が採用されるケースが増えています。MADIは設置と取り扱いが簡単な上に長距離のオーディオ伝送を可能にするシステムとして高い信頼性を備えています。複数のブースやスタジオにより構成されるプロダクション施設や中継放送現場、または大規模なライブ会場でのサウンドシステムやレコーディングなどの多くのアプリケーションに理想的な伝送システムとして威力を発揮します。

MY16-MD64カードはmini-YGDAIスロットを装備しているヤマハ機器への取り付けが可能で16チャンネル拡張用のMY16-EXカードを追加使用することにより、最大64チャンネルの入出力信号に対応します。MY16-EXを1枚、2枚、3枚と追加挿入することに対応入出力チャンネル数は32、48、64と拡張することができます。

MADIによる入出力の双方向伝送はわずか2本のケーブルによる(1本では片方向のみ)接続が可能です。MY16-MD64には入力用と出力用の端子がそれぞれコアキシャル(同軸)とオプティカルの両タイプで搭載されています。最大64チャンネルのオーディオ信号の伝送はコアキシャルケーブルでは最長100メートルまで、またオプティカルケーブルでは最長2キロメートルまで可能です。アナログのマルチケーブルシステムに比べケーブル量を大幅に削減でき簡単な設置と配線作業だけで信頼性の高い長距離伝送システムを構築できます。リダンダンシー(フェールセーフ)機能が装備されており動作中の入力ケーブルに断線などによる通信障害が発生した場合はオプティカルからコアキシャルへと自動的に切り替わります。またオプティカルによる接続では外来電磁誘導によるノイズや干渉の多い場所においては、これらの影響から完全に分離された伝送が可能になります。

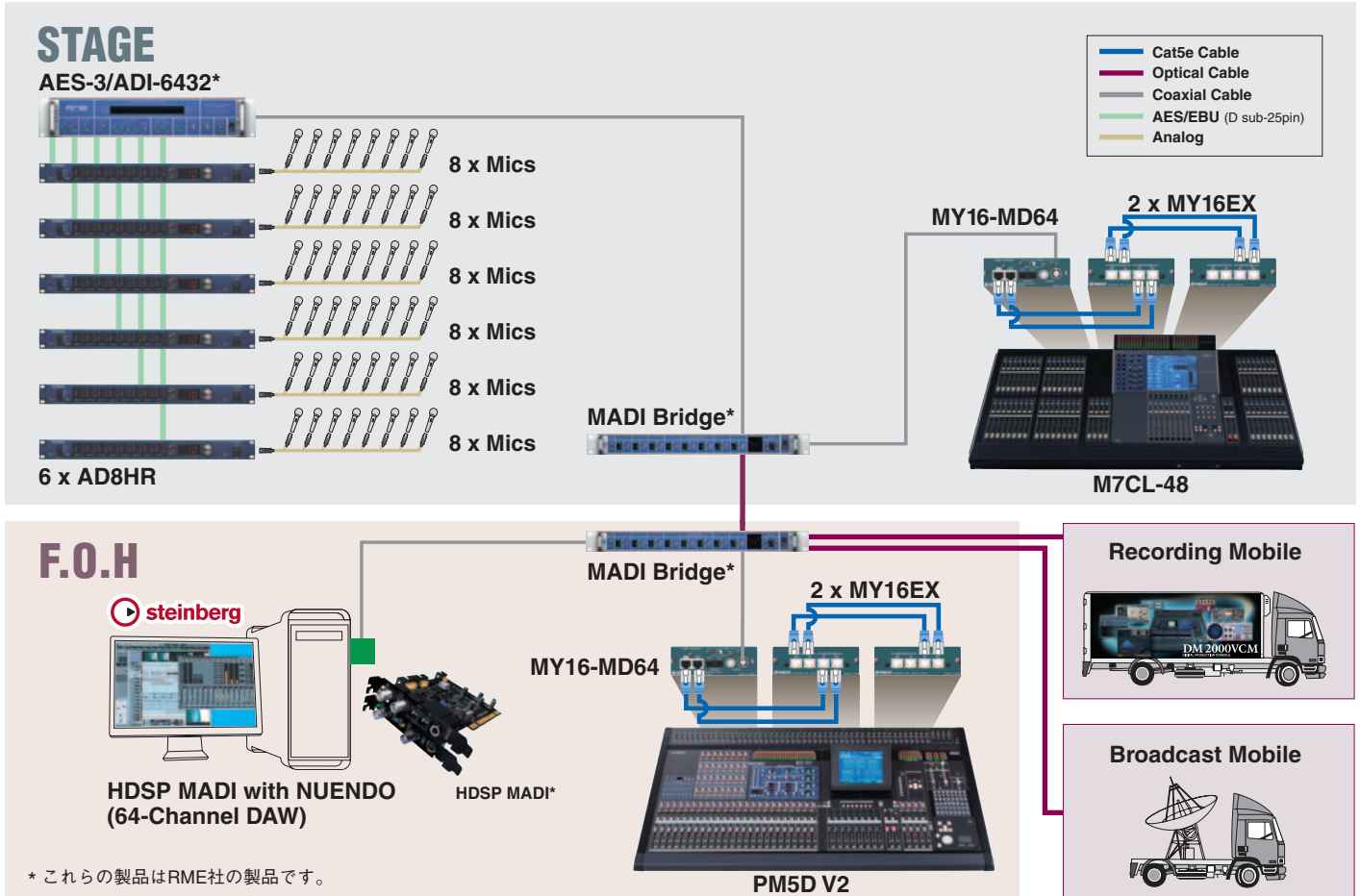
またMADIインターフェースを有する他社製品との接続が可能で、それらとの組み合わせにより様々なアプリケーションの要求に応えることができます。またコンピュータにMADIインターフェースを搭載して、レコーディングや音楽制作で人気の高いスタインバークのDAWとMADI経由で接続することでデジタルダイレクトレコーディングの理想的なシステムとなります。

音楽制作、放送局、ライブレコーディングに適したオーディオ伝送

MADI (Multichannel Audio Digital Interface)は多チャンネルのデジタルオーディオ信号を伝送するフォーマットとして業界標準のAES10-2003に制定されています。24bit/48kHzのデジタルオーディオ信号を最大64チャンネルまで伝送可能で、75Ωコアキシャル(同軸)ケーブルでは、最大100メートルまで、またマルチモードのオプティカルケーブルでは最大2キロメートルまで伝送ができます。MADIは設置や保守のコストを大幅に削減した上、高品位なデジタルオーディオ伝送を高い信頼性で実現しました。

アプリケーション例

ライブコンサートにおいて、MADI機器が会場のサウンドシステムと放送中継車と車載レコーディングシステムへ配置されています。AD8HRからAES/EBU信号として出力されたステージのマイク音声はMADIに変換後MADIブリッジを経由してステージのモニターコンソール (M7CL)とFOHシステムに供給されます。FOH側では更にMADIブリッジを経由してメインコンソール (PM5D)とマルチトラックのプレイバック/録音用のコンピュータとライブレコーディング車、それに放送中継車へMADIにより接続されます。MADI機器同士の接続はわずか2本のケーブルで実現されるので作業の信頼性は格段に高まり、設置時間は大幅に短縮されます。



仕様

MY16-MD64

	端子	個数	備考
フォーマット	-	-	MADI
Audio Network端子	BNC	2	Coaxial
	MADI Optical	2	Optical
拡張用端子 (For MY16-EX)	RJ-45	2	Cat 5

MY16-EX

	端子	個数	備考
フォーマット	-	-	MY16-ES64/MY16-MD64
拡張用端子 (Master)	RJ-45	2	Cat 5
拡張用端子 (For MY16-EX)	RJ-45	2	Cat 5

* その他、商品名などは各社の登録商標です。* 仕様は予告なく変更する場合があります。



<http://proaudio.yamaha.co.jp>

ヤマハ株式会社

PA・DMI事業部 CA事業開発推進部
〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

ヤマハ株式会社 CA営業部

東京 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL (03) 5488-5480
大阪 〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-9
(心斎橋プラザビル東館) TEL (06) 6252-5405
名古屋 〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28 TEL (052) 232-5744
営業推進G 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL (03) 5488-5472

2007年11月作成

カタログコード QCB0710



このカタログは大豆油インクで印刷しています。



このカタログはエコパルプ (ECF:無塩素系漂白パルプ) を使用しています。